

# 令和5年度 多古町地域公共交通会議（千葉県多古町） （地域公共交通計画策定事業）

## 公共交通の概況・地域の特徴

- 本町は、成田空港のそばに位置し、東西約13.6km南北約12.9kmで面積は県内町村の中で2番目の広さである。まちづくりでは、移住定住促進や子育て支援などに積極的に取り組んでいる。
- 本町の公共交通は、高速バス・多古-成田空港間シャトルバス・路線バスが町外への移動を支えており、デマンドタクシー・一般タクシーが町内の移動を支えている。

## 地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

- 人口減少、自家用車利用の浸透等により公共交通の利用は低迷している。また、公共交通事業者はドライバーの不足と高齢化等の問題を抱えており、従来の公共交通サービス水準を維持することが難しい状況となっている。
- 周辺環境も変化しており、成田空港の更なる機能強化や圏央道の整備などによって、居住人口や観光来訪者の増加などが見込まれていることに加えて、本町では高齢化が進行していくことが推計されていることから、今後、公共交通サービスの必要性は一層高くなると考えられる。

## アピールポイント

- 調査実施前に「想定される地域公共交通の課題」「目指すべき将来像」を検討することで、各種調査において、明らかにすべき事項を整理し、効果的かつ効率的な調査実施となるよう工夫した。
- 多古町地域公共交通会議に加えて、交通事業者・学識者を主な構成員とする「専門部会」を開催することで、より効果的で実現可能な地域公共交通計画となるよう留意した。
- 本計画内において、多古町地域公共交通の基本理念を「まちづくりの変化に対応した暮らしを支える魅力的で持続可能な地域公共交通」として掲げ、町民の移動を支えるための交通を確保してだけでなく、公共交通の魅力発信等を行いながら、過度な自家用車依存を改善するための取り組み（乗り方教室開催・モビリティマネジメント等）を重点事業として位置付けた。
- 各事業のスケジュールについて、1年間を4期に分けて、スケジュールを掲載することで、より具体性の高い計画となるよう留意した。さらに詳細な事業スケジュールを別途作成予定である。
- 本計画の進捗状況の確認方法について、フローを作成し、進捗が思わしくない場合の見直し手法を示した。

## 資料 2



面積	72.80km <sup>2</sup>
人口（R5.4.1時点）	13,703人
15歳未満	1,205人
65歳以上	5,352人
高齢化率	39.1%

## 協議会開催状況

第1回公共交通会議（R5年6月21日）  
・計画策定の進め方について

第1回専門部会（R5年6月21日）  
・各種調査内容について

第2回専門部会（R5年11月9日）  
・施策および事業（案）について  
・多古町地域公共交通計画（骨子案）について

第2回公共交通会議（R5年11月28日）  
・多古町地域公共交通計画（素案）について

第3回公共交通会議（書面）  
・地域公共交通確保維持改善事業（地域公共交通調査事業）事業評価の提出について

第4回公共交通会議（R6年2月20日）※予定  
・パブリックコメントの結果について  
・多古町地域公共交通計画（案）について